

厚生労働科学研究費補助金 【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査受検勧奨に関する研究
(分担)研究報告書

インターネットサイトを用いた効果的な HIV 検査相談施設の
情報提供と利用向上に関する研究

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)
須藤 弘二 (慶應義塾大学医学部)
星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
井戸田一朗 (しらかば診療所)
土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
清水 茂徳 (東日本国際大学)
生島 嗣 (特定非営利活動法人 ふれいす東京)
岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
杉浦 太一 (株式会社 CINRA)
今井 光信 (田園調布学園大学)
加藤 真吾 (慶應義塾大学医学部)
市川 誠一 (人間環境大学)
白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

インターネットを介し保健所等 HIV 検査相談施設の検査情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを推進することを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。本サイトの情報提供の効果を調査するため、アクセスアナライザーによる利用状況の解析および保健所等 HIV 検査担当者へのアンケート調査を行った。本年度の新規事項としては、トップページの視認性・操作性向上のための改良、梅毒感染者急増への対応として梅毒に関する情報ページの作成、HIV/エイズ支援団体リストの掲載、プレ検査（郵送検査）等の検査方法解説ページの作成を行った。また、既存ページの修正として、施設情報ページにバリアフリー対応についての項目を追加するとともに、外国語情報ページの内容充実（検査施設および HIV/エイズ支援団体リストの追加）を図った。

年間サイトアクセス数は、2018 年は 216 万件となり、2001 年のサイト開設以来過去最高となった。2018 年 10 月以降にアクセス数が急増しており、その要因としては HIV/エイズ関連のニュースが複数回インターネットニュースに取り上げられたこと、映画（ボヘミアン・ラプソディー）の公開に伴い、多くのメディアで紹介されたことによるものと思われる。チャネル別のアクセス数割合では、検索エンジンからのアクセスが 85.2%、直接アクセスが 9.5%、他サイトリンクからが 5.8%であった。今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「梅毒」であり、以下、「HIV」、「エイズ」、「HIV 検査」と続いた。検索サイトでの検索用語別の平均掲載順位は 1.0～6.3 と上位であり、「梅毒」でも 4 位に表示されていた。

HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況等を保健所等 HIV 検査担当者

に聞いたところ、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所 92%、特設検査機関 100%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所 78%、特設検査機関 95%であった。このことから、当サイトは保健所等の HIV 検査担当者の多くの方に認識していただいております、HIV 検査相談事業に寄与していることが確認できました。

2001年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2018年未までに合計 2,076万件のアクセスがあった。保健所等 HIV 検査相談施設の情報幅広く紹介するとともに、検索エンジンの HIV/エイズ関連用語検索では常に上位に検索結果が表示されることから、社会において HIV 関連ニュースが大きく取り上げられた際の情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報媒体、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で最新の HIV 検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与していきたい。

A.研究目的

インターネットを介して保健所等 HIV 検査相談施設の検査情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供と受検サポート、HIV/エイズの理解促進を目的として、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(www.hivkensa.com)の管理運営を行った。本サイトの情報提供効果を調査するため、アクセス解析や保健所等職員へのアンケート調査により、当サイトが有効利用されているかを調査した。

B.研究方法

1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等 HIV 検査相談施設で実施されている常設検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(PCサイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイト)に掲載し、情報提供を行った。PCサイトは2001年9月、携帯電話サイトは2003年4月に開設し、2009年10月にPCサイトおよび携帯電話サイトのリニューアルを行った。2013年にはスマートフォンサイトを開設した。今年度はPCサイトとスマートフォンサイトについてトップページの視認性・操作性向上のためのレイアウト変更を行った。

定期更新作業としては、2019年2月27日に新年

度の検査日程等の情報確認のため、自治体149箇所および医療機関36箇所に情報確認依頼文書を送付し、3月中旬から修正作業を行った。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

本年度の新規事項としては、梅毒感染者急増への対応として梅毒に関する情報ページ(もしかして梅毒!?)の作成、HIV/エイズ支援団体リストの掲載、プレ検査(郵送検査)等の検査方法解説ページの作成およびトップページの視認性・操作性向上のための改良を行った。また、既存ページの更新として、施設情報ページにバリアフリー対応についての項目を追加するとともに、外国語情報ページの内容充実(検査施設、HIV/エイズ支援団体リストの追加)を図った。

2. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

本サイトのアクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いて、①サイトアクセス数(年別、月別、日別)、②情報端末別アクセス数、③新規・リピーター割合、④検索エンジン(Google)の検索クエリ別順位、⑤参照元からのアクセス数、⑥サイトコンテンツのページビュー数、⑦アクセス地域およびアクセス言語を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析した。また、2017年3月に外国語ページを新規作成したことから、その利用状況を把握するために、

⑧外国語ページのページビュー数、⑨やさしい日本語ページへのアクセス地域およびアクセス言語についての解析を行った。

3. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

HIV 検査・相談体制に関する調査（研究分担者土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設の HIV 検査担当者に対し、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への寄与に関するアンケート調査を実施した。

C. 研究結果

1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

2018年は保健所等HIV検査相談施設650箇所の検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼149件、情報修正依頼403件の更新作業を行った（図1）。新規に作成したページとして、梅毒に関する情報ページ（もしかして梅毒！？）の作成（2018年5月、図2）、HIV/エイズ支援団体リストの掲載（2019年3月）、プレ検査（郵送検査）等の検査方法解説ページの作成（2019年3月）、PCサイトおよびスマートフォンサイトのトップページ視認性・操作性向上のためのレイアウト変更（2019年3月、図3）を行った。また、既存ページの更新として、施設情報ページにバリアフリー対応（FAX/メール等での予約、筆談、車いす対応等）についての項目を追加するとともに、外国語情報ページの内容充実（検査施設およびHIV/エイズ支援団体リストの追加）を図った。

2. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

PCサイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの2001年からの合計アクセス数は約2076万件となった（図4）。2018年の年間サイトアクセス数は216万件であり、2017年の158万件と比較し約58万件的増加がみられた。情報端末別にみると、スマートフォンからのアクセス数が189万件となり、総アクセス数の88%を占めた（図5）。月別アクセス数は、2018年は1月から2017年を上回って推移していたが、10月以降、急激にアクセス数が増加し、11月はアクセス数が31万

件と過去最高となり、12月も29万件を記録した（図6）。日別アクセス数を見たところ、一日あたり15,000件を超えた日は、「AV女優のHIV感染判明」のニュースにより11月6日に15,969件、11月13日に18,565件、11月14日に18,314件、「中国で遺伝子操作によりHIV耐性の双子女児が誕生」とのニュースで11月27日に17,066件、11月28日に18,212件、12月13日に20,891件の計6回であった。今年度は10月以降、日別アクセス数が通常（4,000～5,000件）よりも増加しており、この要因としては、11月9日に公開された映画「ボヘミアン・ラプソディー」について、多くのメディアで何回も話題が取り上げられたことによるものと考えた。訪問者別割合は、新規訪問者が85%、リピーターが15%であり、2018年はリピーター割合が2017年の31%に対し半減していた（図8）。また、アクセス後の直帰率は、2017年は65%であったのが、2018年は70%に増加していた。チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが85.2%、直接アクセスが9.5%、他サイトからのアクセスが5.8%、SNSからのアクセスが0.3%であった（図9）。検索エンジン（Google）における表示順位調査の指標としている検索クエリの月別順位をみたところ、「HIV」では1～3位、「エイズ」では1～4位、「AIDS」では1～13位で推移していた（図10）。「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語を組み合わせると1～2位、「HIV」、「AIDS」と「test」の用語を組み合わせると1位に表示された。

検索エンジン（Google）で検索に用いられたクエリ別の順位を50位まで調査したところ、今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「梅毒」であり、以下、「HIV」、「エイズ」、「HIV検査」と続いた（図11）。検索サイトでの検索用語別の平均掲載順位は1.0～6.3であり、「梅毒」でも4.0と上位に表示されていた。「HIV」との用語で検索されるサイト数は約3億サイトあるのに対し、「梅毒」では約1,800万サイトであった。

参照元からのアクセス数を見たところ、Google 検索からが最も多く約 139 万件、Yahoo! JAPAN 検索からが約 46 万件、直接アクセスが約 19 万件であった (図 12)。参照サイトからのアクセス数をみると、東京都が 9,128 件と一番多く、上位 10 位中ゲイ・バイセクシャル向けサイトが 3 箇所、郵送検査会社サイトが 1 箇所あった (図 13)。

サイトコンテンツのページビュー数を見ると、スマートフォンサイトの「HIV・エイズって何?」ページが約90万ページビューと一番多く、今年度作成した梅毒啓発ページ (もしかして梅毒!?) は約16万ページビューと4位に入った (図14)。上位 10 位中、スマートフォンサイトのページが8ページを占めた。当サイトへのアクセス地域は日本からが155万人と最も多く、続いて米国7,109人、タイ国6,085人、韓国2,785人と続いた (図15)。アクセス言語をみると、日本語が153万人、英語が46,411人、中国語が8,909人であった。

2017年3月に作成した外国語ページ (英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語) の利用状況を把握するために、外国語ページのページビュー数、アクセス地域およびアクセス言語のユーザー数について解析を行った。外国語ページのページビュー数は、やさしい日本語が23,035件と最も多く、続いて英語ページが7,688件であった (図16)。一番アクセス数が多かったやさしい日本語ページのアクセス元を見たところ、アクセス地域は日本が19,223件、アクセス言語は日本語が19,065件であった (図17)。

3. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

全国保健所および特設検査施設に対して実施した HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への貢献度に関する質問を HIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所 92%、特設検査施設 100%であり (図 18)、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思

う」の回答は保健所 78%、特設検査施設 95%であった (図 19)。

D. 考察

今年度のサイトアクセス数は 216 万件と 2017 年の 158 万件より約 58 万件の増加となり、2001 年の開設以降過去最高となった。2018 年 10 月以降にアクセス数が急増し、その要因としては HIV/エイズ関連のニュースが複数回インターネットニュースに取り上げられたこと、映画「ボヘミアン・ラプソディー」が 2018 年 11 月に公開され、年間映画興行収入が 1 位となったことから、多くのメディアで何度も話題が取り上げられたことによると考えた。情報端末別アクセス数では、スマートフォンからが 189 万件と総アクセス数の 88%を占めており、年々その割合が増加していた。スマートフォンにより検索が手軽になりアクセス数が増加した一方で、直帰率は 2017 年が 65%であったのが 2018 年は 70%に増加しており、サイト内の他のコンテンツも閲覧してもらえるような仕組み作りが必要と思われた。今年度、PC サイトおよびスマートフォンサイトについて、トップページ視認性・操作性向上のためのレイアウト変更を行ったことから、今後その効果について確認したい。チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが 85.2%、直接アクセスが 9.5%、他サイトからのアクセスが 5.8%、SNS からのアクセスが 0.3%であり、SNS からの訪問数が少ないことが分かった。当サイトへのアクセスはスマートフォンからが 88%と多いことから、SNS の活用は有効と思われ、今後、サイトデザインに画像を多く掲載する等、SNS で発信しやすいサイト構成に改修する必要があると思われた。

検索エンジン (Google) での検索クエリ別の順位を 50 位まで調査したところ、今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「梅毒」であり、近年感染者数が急増していることから、梅毒情報への関心の高さが伺えた。以下、「HIV」、「エイズ」、「HIV 検査」

と続いた。検索サイトでの検索用語別の平均掲載順位は1.0~6.3であり、「梅毒」でも4.0と上位に表示されていた。一方、梅毒関連サイトはHIV関連サイトの17分の1と少なく、梅毒はHIVとリスクが共通する性感染症であることから、梅毒に関する正しい知識普及のためのページ作成は重要と考える。今年度、梅毒情報ページ（もしかして梅毒！？）の作成を行ったところ、ページ閲覧数はサイト全体の4位となっており、多くの方に閲覧していただいている。今後、さらに詳しい情報を掲載し、内容を充実させていきたいと考える。

参照サイトからのアクセス数を見たところ、ゲイ・バイセクシャル向けサイトが上位10位中3箇所あった。ゲイ・バイセクシャルの方の利用率が高いサイトにバナーを設置してもらうことで、感染リスクの高い層へのアプローチが可能になると考えることから、今後さらに連携を広げていきたいと考える。また、郵送検査会社のアフィリエイトサイトからのアクセスもあった。インターネット上には郵送検査会社のサイトが多数表示されてくることから、郵送検査に関する正しい理解を促すための情報提供が必要と考える。今年度、新規ページとしてプレ検査（郵送検査）等の検査方法解説ページの作成を行ったことから、今後、アクセス数等の推移を調査する予定である。

2017年3月に作成した外国語ページではやさしい日本語が23,035件と最も多く、続いて英語ページの7,688件であった。やさしい日本語ページへのアクセス地域は日本が19,223件、アクセス言語は日本語が19,065件であり、多くは日本人によるアクセスと思われた。検査等の専門用語は日本人でも理解が難しいと思われ、分かりやすい情報を提供することは、より多くの方に理解してもらう上で重要であると考えます。

当サイトへのアクセス地域は米国7,109人、タイ国6,085人、韓国2,785人であったが、アクセス言語は英語が46,411人、中国語が8,909人であり、在日外国人が当サイトを利用している可能性が

示唆された。今後、東京オリンピック・パラリンピックを控え、在日外国人や外国人旅行者が急増し、外国人の検査希望者の増加も予測されることから、さらに多言語の情報提供体制について内容の充実を図り、バリアフリーなサイト構築を目指していきたい。

全国保健所および特設検査施設に対して実施したHIV検査相談に関するアンケート調査において、本サイトの利用状況等に関する質問をHIV/エイズ対策担当者に質問したところ、「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所92%、特設検査施設100%、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」が保健所78%、特設検査施設95%であり、当サイトは自治体HIV/エイズ担当者に認知されており、HIV検査相談事業に寄与していることが確認できた。

当サイトはHIV検査研究班の公式サイトとして2001年に開設し、2018年末までに約2,076万件のアクセスがあった。保健所等HIV検査相談施設の情報を広く公示するとともに、検索エンジンのHIV/エイズ関連用語検索で常に上位に検索結果が表示されることから、社会でHIV関連ニュースが大きく取り上げられた際の情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体のHIV/エイズ情報媒体、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で最新のHIV検査情報を提供していくとともに、更なるHIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与していきたい。

E. 結論

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>)を運営し、保健所等HIV検査相談施設の最新情報やHIV検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。また、アクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。

本年度の新規事項としては、トップページの視認性・操作性向上のためのレイアウト変更、梅毒感染者急増への対応として梅毒に関する情報ページの作成、HIV/エイズ支援団体リストの掲載、プレ検査（郵送検査）等の検査方法解説ページの作成を行った。

今年度のサイト訪問数は約 216 万件と 2001 年のサイト開設以来過去最高となった。検索エンジンで当サイトにアクセスした最も多い検索用語は「梅毒」であり、梅毒情報への関心の高さが伺えた。

アンケート調査結果からは保健所担当者が当サイトを活用していることが分かり、当サイトの保健所 HIV 検査相談事業への寄与が示唆された。本サイトアドレスは日本赤十字社での献血者への配布文書や自治体サイト、啓発用パンフレット等にも多方面で紹介されており、行政的にも有効利用されている。

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

1. 論文発表

- 1) Kondo M, Sudo K, Sano T, Kawahata T, Itoda I, Iwamuro S, Yoshimura Y, Tachikawa N, Kojima Y, Mori H, Fujiwara H, Hasegawa N, Kato S; Comparative evaluation of the Geenius HIV 1/2 Confirmatory Assay and the HIV-1 and HIV-2 Western blots in the Japanese population. PLoS One. 13(10):e0198924.
- 2) 佐野貴子、嘉手苧将、渡邊寿美、近藤真規子、黒木俊郎、田坂雅子、大塚優子、寺西大、中村廣志、舟久保麻理子、片山公美、吉村通、江添忍、阿南弥生子. 神奈川県における無菌性髄膜炎患者の発生動向とウイルス検出状況, 2012～2017 年. 病原微生物検出状況, 39: 94-96, 2018

2.学会発表

- 1) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、今井光信、加藤真吾、今村顕史. 民間検査センターにおける HIV 検査実施状況に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月 2-4 日、大阪.
- 2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2017). 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月 2-4 日、大阪.
- 3) 近藤真規子、佐野貴子、長島真美、貞升健志、川畑拓也、加藤真吾、今村顕史. 全国地方衛生研究所における HIV 検査実施状況. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月 2-4 日、大阪.
- 4) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、堅多敦子、石丸雄二、城所敏英、カエベタ亜矢、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月 2-4 日、大阪.
- 5) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、堅多敦子、石丸雄二、城所敏英、カエベタ亜矢、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月 2-4 日、大阪.
- 6) 川畑拓也、井戸田一朗、小島洋子、近藤真規子、貞升健志、佐野貴子、須藤弘二、高田昇、長島真美、森治代、加藤真吾、今村顕史. エビデンスに基づいた専門職向け HIV 検査 Q&A 集の作成. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月 2-4 日、大阪.
- 7) 佐野貴子. 神奈川県における流行性筋痛症事例からのヒトパレコウイルス 3 型の検出. 第

59 回日本臨床ウイルス学会、2018 年 6 月 9-10 日、さいたま市。

8) 木所稔、中田恵子、佐野貴子、成相絵里、後藤慶子、稲田眞知、藤谷美沙子、広川智香、斎藤博之、柴田ちひろ、伊藤雅、皆川洋子、竹田誠、菅秀。2016 年～2017 年に国内で流行したムンプスウイルスの分子系統学的解析。第 59 回日本臨床ウイルス学会、2018 年 6 月 9-10 日、さいたま市。

9) 皆川洋子、伊藤雅、北川和寛、濱崎光宏、中田恵子、高橋雅輝、峯岸俊貴、長谷川道弥、新開敬行、板持雅恵、木田浩司、佐野貴子。感染

症発生動向調査における病原ウイルス検査への外部精度調査 (External Quality Assurance:EQA) の導入。第 59 回日本臨床ウイルス学会、2018 年 6 月 9-10 日、さいたま市。

H.知的所有権の出願・登録状況 (予定を含む)
なし

図1

ホームページの施設情報、検査イベント情報、 情報修正依頼件数

掲載依頼	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
施設情報	666	666	664	657	650
検査イベント情報	177	157	185	168	149
情報修正依頼	591	345	364	363	403

図2

もしかして梅毒！？ページ（2018年5月30日掲載）



図3 トップページ視認性・操作性向上の改良(2019年3月)

(改良前)



(改良後)



図4 サイトアクセス数 (2001年-2018年)

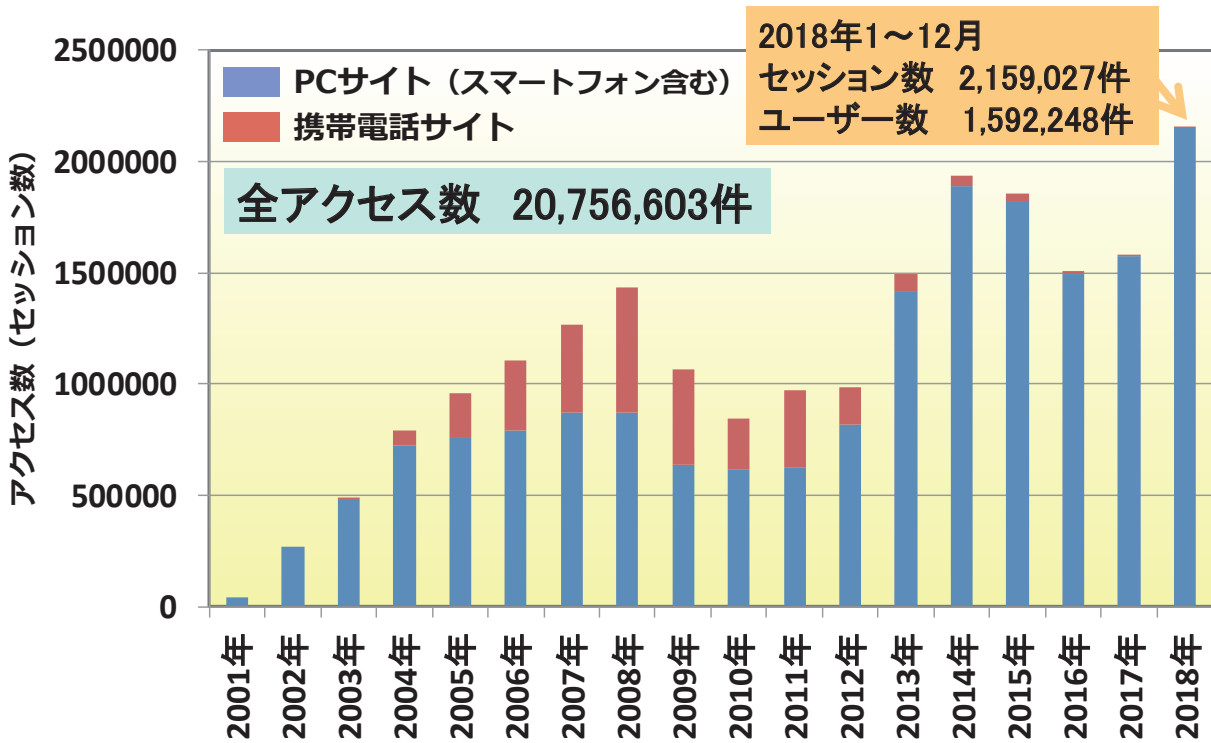


図5

情報端末別アクセス数の推移(2010年-2018年)

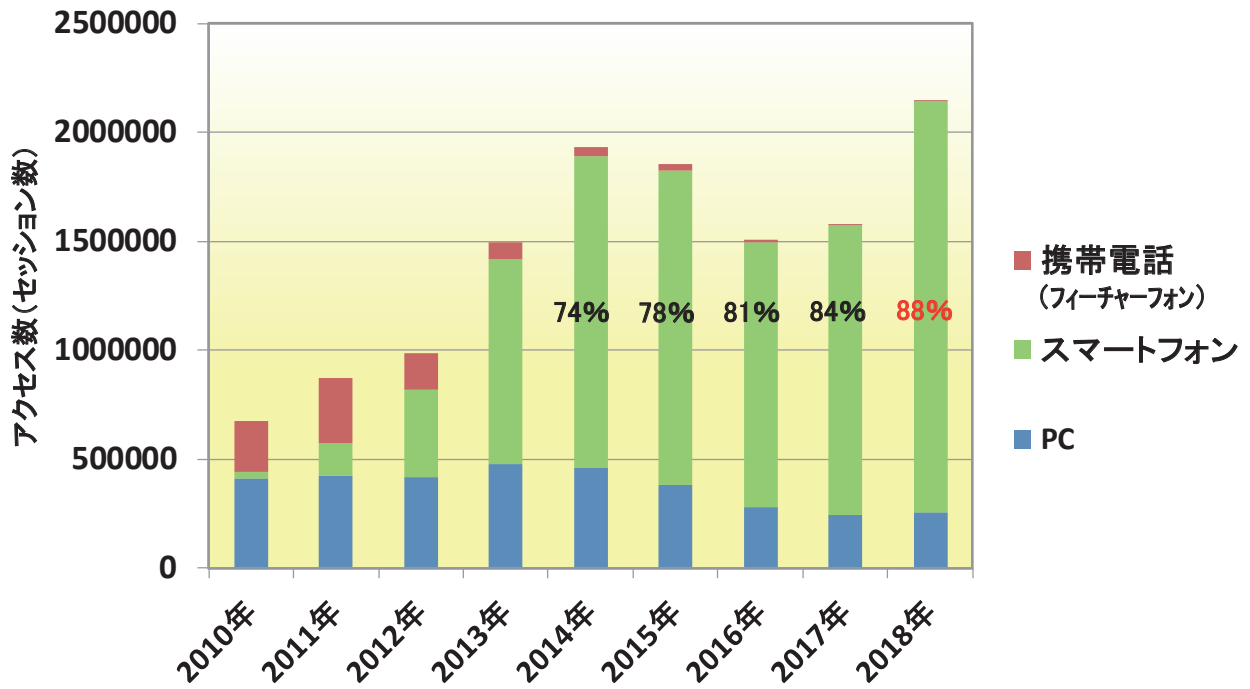


図6

月別アクセス数の推移 (2011年~2018年)

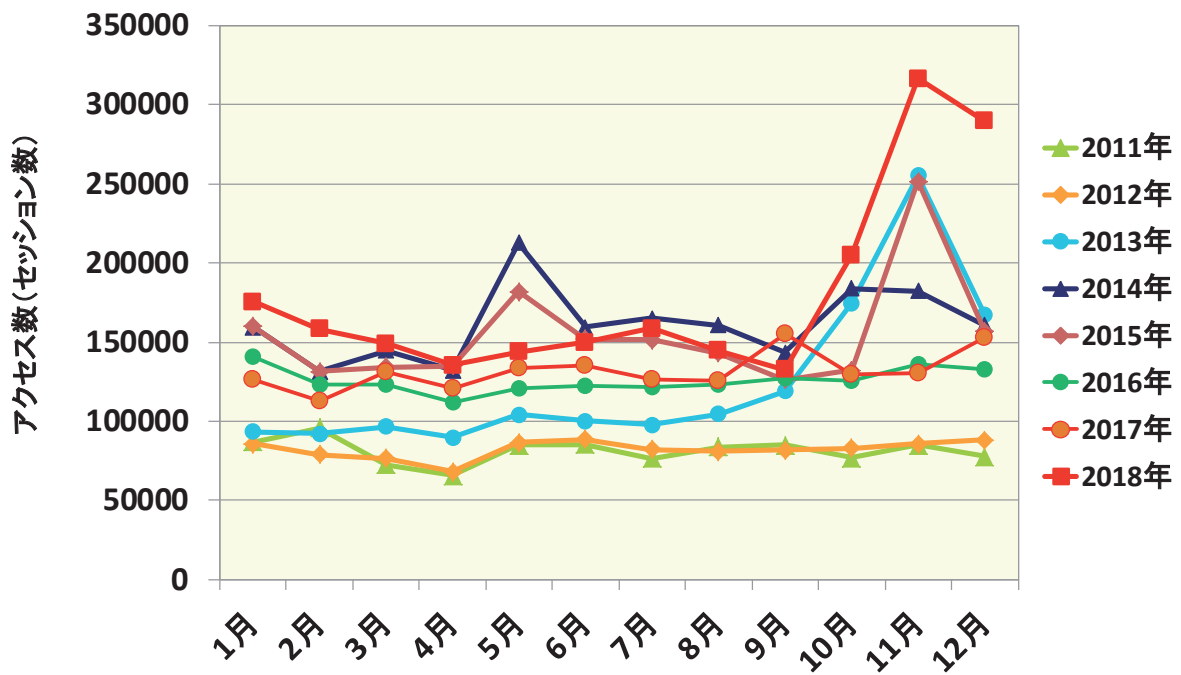


図7

日別アクセス数 (2017年、2018年)

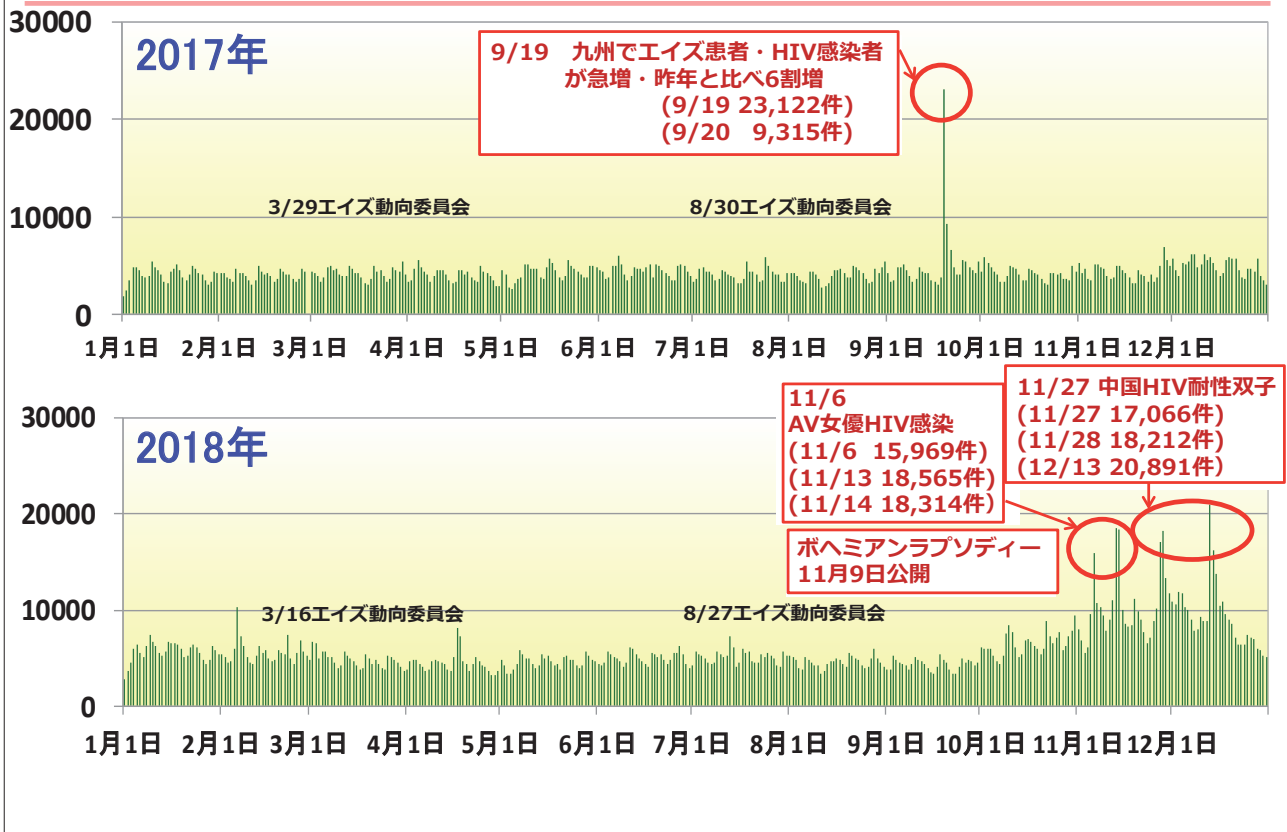


図8

アクセス(新規・リピーター)割合

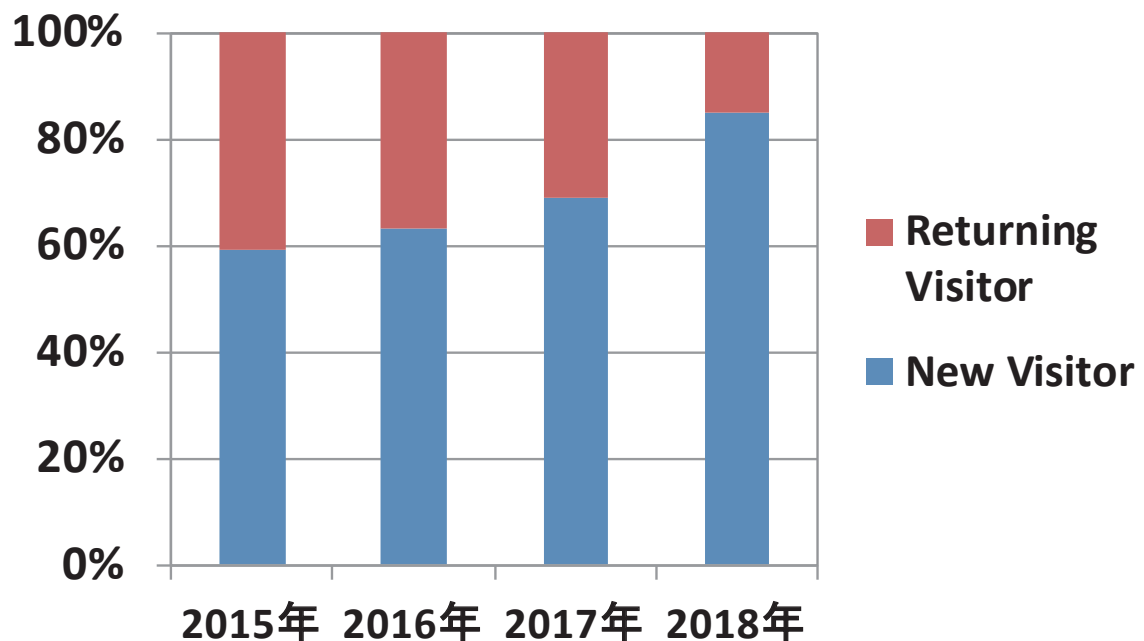


図9

チャンネル別アクセス割合 (2018年)

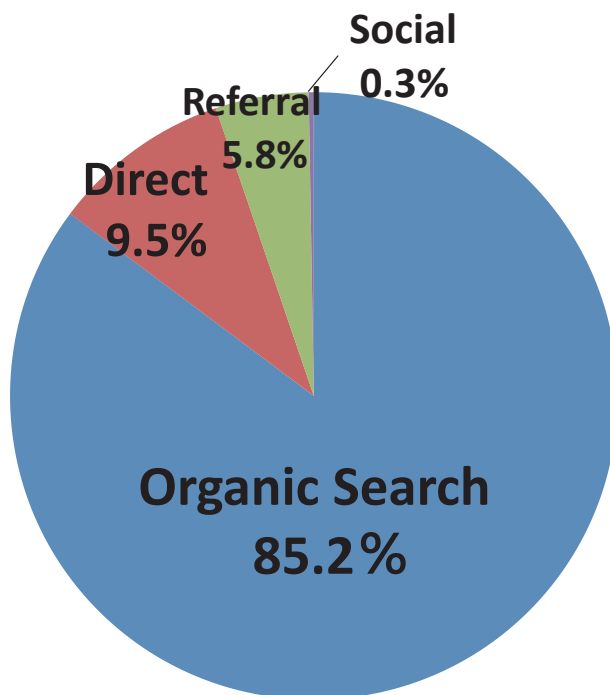


図10

検索エンジン 検索クエリ別月別順位 (Google)

検索クエリ	Google件数 (2018年12月)	2018年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	242,000,000	1	1	1	1	1	1	1	3	2	2	1	1
エイズ	12,200,000	1	1	1	1	1	1	1	2	4	3	3	1
AIDS	336,000,000	3	4	3	3	3	3	3	7	13	5	2	1
HIV 検査	19,900,000	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1
エイズ 検査	10,400,000	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1
AIDS 検査	684,000	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1
HIV test	252,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
AIDS test	290,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(PC版 検索順位チェックツールGRCを使用)

図11 検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google: 50位まで)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位	順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	梅毒	76577	4.0				
2	hiv	39020	1.8				
3	エイズ	35724	2.5				
4	hiv 検査	18320	1.2	21	hiv検査	3803	1.2
5	エイズとは	16452	2.6				
6	梅毒 検査	11490	2.8	38	梅毒検査	1668	2.7
7	エイズ 検査	11164	1.3				
9	エイズ 感染率	8388	1.0	42	エイズ感染率	1655	1.0
10	hiv 感染率	6930	1.1				
12	hiv 感染確率	5473	1.0				
13	hivに感染した女	5194	2.0				
14	エイズ 原因	4921	1.1				
16	hivとは	4193	2.5	34	hivとは	2200	2.4
17	エイズ検査	4183	1.3				
18	aids	4020	3.1				
22	hiv 症状	3796	5.8				
23	梅毒症状	3371	5.5				
24	性病検査	3138	5.8	36	性病 検査	1997	6.1
25	エイズ 感染経路	3010	2.0				
27	hiv 感染経路	2943	1.4				
28	エイズ 症状 男性	2568	1.0				
29	梅毒 症状	2509	6.3				
30	エイズ 確率	2442	1.0				
31	hiv 感染	2375	3.2				
32	エイズ 症状 女性	2214	2.3				
35	エイズ 症状	2113	5.5	37	エイズ症状	1942	5.6
43	保健所 検査	1620	1.5				
44	hiv 確率	1607	1.0				
46	エイズ 感染	1578	3.5				
47	hiv 検査 大阪	1557	1.1				
48	保健所 性病検査	1521	2.1				
49	エイズ 検査 いつから	1498	1.0				
50	梅毒 検査方法	1446	3.2				

(2018/8/3-12/31)

【キーワード】

梅毒 aids
 hiv えいず
 エイズ 感染経路
 梅毒検査 保健所
 エイズ検査 男性
 エイズ感染率 女性
 hiv感染率 確率
 原因 大阪
 hiv症状 いつから
 梅毒症状 検査方法
 性病検査

図12

参照元からのアクセス数 (2018年)

参照元	アクセス数
1 Google 検索	1,390,900
2 Yahoo! JAPAN 検索	462,174
3 Direct access	194,059
4 ドコモ 検索	22,279
5 bing 検索	17,945
6 東京都	9,128
7 au 検索	8,014
8 HIVマップ	5,789
9 Twitter リンク	3,354
10 Men's Net Japan リンク	2,455

図13

参照サイトからのアクセス数 (2018年)

	参照サイト	アクセス数
1	東京都	9,128
2	HIVマップ	5,789
3	twitter	3,354
4	Men's Net Japan	2,455
5	日本赤十字社	2,290
6	東京都南新宿検査相談室	1,986
7	KO MENS.TV	1,803
8	バレない性病検査(STDチェッカー)	1,509
9	大阪 HIV検査.jp	1,431
10	京都市	1,135

図14

サイトコンテンツのページビュー数(2018年)

ページビュー全体 4,981,617件

	サイトコンテンツ	ページビュー数
1	mb HIV・エイズって何？	898,959
2	mb トップページ	278,960
3	mb HIV検査まめ知識	242,494
4	mb もしかして梅毒！？	162,550
5	mb 検査・相談所検索	155,985
6	mb HIV検査Q&A	108,892
7	PC HIV・エイズって何？	97,555
8	mb 東京都南新宿検査・相談室	80,589
9	PC トップページ	68,725
10	mb 東京都検索結果ページ	53,250

図15

アクセス地域およびアクセス言語 (2018年)

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	1,552,361	日本語-日本	1,214,246
United States	7,109	日本語	315,598
Thailand	6,085	英語-米国	40,951
South Korea	2,785	中国語(簡体)	4,765
Vietnam	2,021	英語-英国	4,144
Philippines	2,003	中国語(繁体)	1,362
Australia	1,643	英語-オーストラリア	1,316
Canada	1,556	韓国語-韓国	1,033
Singapore	1,503	フランス語-フランス	702
Indonesia	1,464	ベトナム語-ベトナム	694

図16

外国語ページのページビュー数 (2018年)

言語	mb	PC	全体
英語	5,277	2,411	7,688
スペイン語	134	88	222
タイ語	883	163	1,046
タガログ語	65	55	120
ベトナム語	795	137	932
ポルトガル語	131	109	240
韓国語	122	65	187
中国語	725	253	978
やさしい日本語	19,685	3,350	23,035

図17 やさしい日本語ページのアクセス解析 (2018年)

やさしい日本語ページビュー数 23,035件

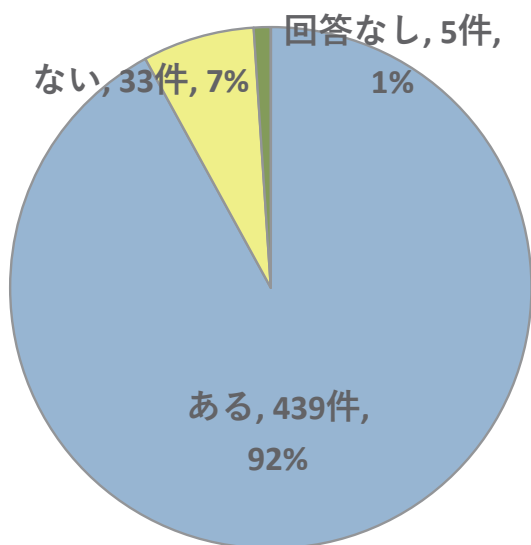
アクセス国	ページビュー数
Japan	19,223
Thailand	116
United States	61
Australia	22
Hong Kong	22
Taiwan	22

アクセス言語	ページビュー数
日本語-日本	15,255
日本語	3,810
英語-米国	355
中国語(簡体)	69
英語-英国	56

図18 (2018年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？

(保健所477件中)



(特設検査施設21件中)

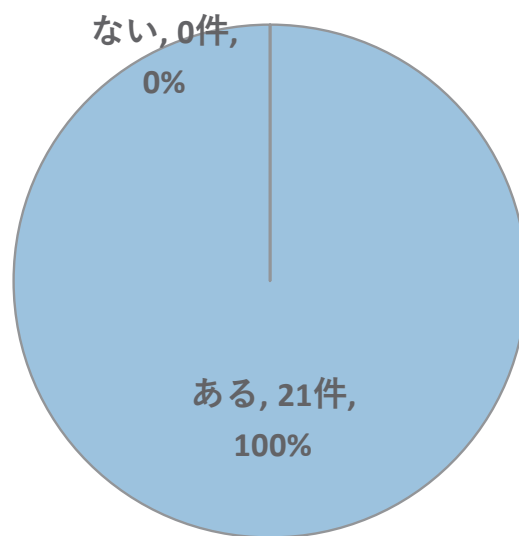


図19

(2018年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

